

■一年間を振り返って

桂川中学校 校長 石田英喜

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。来る3月12日には、令和元年度第73回卒業式が行われます。本校より、109名が卒業いたします。

また、3月24日には、一年生と二年生が、それぞれの学年を修了し、進級することになります。大変喜ばしいことです。

この一年、本校の学校教育目標である『自ら学び、夢の実現に向け努力を重ね、たくましく前進する生徒の育成』を目指し、未来の桂川町を担う知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成するため、学力や体力の向上を重点課題に掲げ、全教職員が力を合わせて実践してまいりました。

子どもたち一人一人の一年間の身の成長・発達には目を見張るものがあります。教育活動の節目の体育会や文化発表会では、子どもたちの元気溢れる姿を見ていただくことができました。また、その節目、節目の行事では、PTAのみなさんによる様々な学校に対するご支援とご協

力をいただきました。ありがとうございます。

今日、褒める教育ばかりがもてはやされていますが、中学生を相手に褒めてばかりはいられません。いけない行動や態度には、方法は様々ですが、きちんと指摘したり、責任を取らせたりすることは大切なことです。社会に通じる大人に成長させるためでもあります。教育は発達段階に応じて時に優しく、時に厳しく、このバランス感覚が大切です。また、厳しさを与えるときも、その心底に「愛情」がなければいけません。そこを間違わなければ、大人の気持ちは子どもに伝わるようです。家庭だけでなく、我々学校の教員もこのバランス感覚を失わないようにしなければなりません。どんなに厳しく生徒を叱っても、卒業式にはその生徒のために涙するような教師でありたいものです。

■小学校生活へのアプローチ

桂川幼稚園 園長 城石俊弘

3学期は進級や卒園・入学に向けた準備の期間でもあります。年長児にとっては、小学校生活が目前に迫っていますが、年長クラスの特に2学期3学期に大切になってくるのが、小学校の子どもたちに慣れの気持ちをもったり、小学校生活に期待を寄せたりするようになる機会を設けることです。文部科学省が定めている「幼稚園教育の円滑な接続のため、幼稚園の幼児と小学校の児童との交流の機会を積極的に設けるようにするものとする。」という規定があります。

本園では、桂川東小学校の1年生児童と芋掘りをしたり、桂川小学校1年生の生活科「小学校は楽しいよ」の授業で、楽しい小学校生活の様子を紹介してもらったりしました。桂川小学校での5回の給食体験も、本年度からは5年生児童の教室で行い、交流を進めるようにしています。また、小学校の先生に鉛筆の持ち方や運筆の指導してもらい、その後の園での指導に生かしています。

このように町内2小学校との交流が円滑に計画・実施できるのも、本園が桂川町にある公立の幼稚園だからこそです。今後も町立であることの強みを生かして、本園教育の充実を図りたいと考えています。

また、幼小の交流の他にも、整理・整頓の仕方、箸の持ち方、食べ方、あいさつや返事、話の聞き方の指導に力を入れるとともに、ALTによる英語活動以外にも英語に親しむ機会を多くもったり、平仮名に慣れ親しんだり、「かずのワーク」を活用して、数の概念を培う指導を取り入れるなど、小学校生活のスムーズなスタートを目指した活動の充実を図っています。

以上のような様々な取組を、福岡県立大学と連携して、より良い小学校生活につながる「カリキュラム」として整理する作業を進めているところです。

